

企画展 日本近代洋画への道 高橋由一から藤島武二まで—山岡コレクションを中心に
会 期 2007年2月10日(土)～3月31日(土)

本展覧会では、日本近代洋画史をたどる上で欠かすことができない山岡コレクションを中心とした作品から、洋画誕生の歴史を振り返ります。

山岡コレクションとは、小型ディーゼルエンジン事業の創設と世界への普及で成功した山岡孫吉氏が、日本洋画の黎明期から形成期までの作品を独自の視点で収集したものです。これには、高橋由一、黒田清輝などの教科書にも登場する洋画家の作品が含まれており、数年前まで一部の研究者のみが知る幻のコレクションでした。山岡淳男氏より日動美術財団に寄贈され、全国で順次公開されています。

高崎市美術館ではこれまで現代美術を、高崎市タワー美術館では日本画を中心に展示してきましたが、今回はあわせて69作家176作品を展示し、日本近代洋画への道をたどります。

会 場 高崎市タワー美術館 (370-0841 高崎市栄町3-23 電話 027-330-3773)

時 間 午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ午前10時～午後8時 (入館は午後7時30分まで)

休 館 日 月曜日、祝日の翌日

会期中の休館日：2/13・19・26、3/5・12・19・22・26

観 覧 料 一般：500円(400円)、大高生：300円(250円)、中小生：200円(150円)

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、未就学児は無料となります
- 市内に居住する小中学生については、毎週土曜日は無料となります

主 催 高崎市美術館、高崎市タワー美術館

後 援 朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞東京本社前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

協 力 (財)日動美術財団

関連事業

- 「山下りん」アイコン見学会 3/11 14:00～ 高崎市美術館と合同
- 作品解説会 2/10、2/24、3/10、3/24 14:00～、3/30 18:00～